大正九年十二月二十四日第三種郵便物認可（毎月一回二十五日發行）
大正十一年九月二十四日印刷納本　大正十一年九月二十五日發行

Vol. II. No. 21. THE HEAVENS Aug.-Sept 1922.

天界

第二十一號

大正十一年八、九月
パーシエル紀念號

KYOTO IMPERIAL UNIVERSITY LIBRARY
大正 13.7.23
京都帝國大學圖書館

內容

ウ井リアム・ハーシエルの英影
ウ井リアム・ハーシエルの百年祭に當つて……荒木俊馬……一四九
續刊
大ハーシエルの回顧……山本一清……一五〇
ウ井リアム　ハーシエル……海老恒治……一五五
變光星觀測法に就いて……中村要……一六三
噫、カプタイン逝く……山本一清……一七二
九月の天象

同好會出版

山本一清助教授著

星座の親しみ

（第二版 大增補）

四六版百頁　美麗なる寫眞及木版數十個入

價金壹圓　郵稅金八錢

……自分は若い頃、夏の天を仰いで蛇座と蛇遣ひ座の形を初めて知つた時、一寸眼には何者もないやうな無秩序の中に實は一定秩序が整つて天上無比の巨漢が蜿々と横ばる大蛇を繰つる壯觀を面と向つて見た時は思はず快哉を叫んだものを今だも覺へて居る……それ以來自分にとつて夏の天に最も親しいものは今尙ほ此の蛇遣ひのなである……

東京市京橋區銀座尾張町

發賣所　警醒社

Contents of THE HEAVENS No. 21. Editor T. Araki. Asst, Ed. T. Ebi.

Willian Herschel Commemoration Number,

William Herschel. (Frontispieece)…… T.Araki; On the Centenary of William Herschel, ……1, Yamamoto; Refrection of Late William Herschel……(1)…T. Ebi. Late William Herschel·1. K.Nakamura; On Variable Star Qhservation 1.Yamamoto; Deplore the Death of kapteyn……Astronomical Phenomena for September.

Published by the Society of Astronomical Friends,

Kyoto University Observatory,

郵税金拾貳錢　SIMON NEWCOMB'S　價貳圓參拾五錢

ELEMENTS OF ASTRONOMY

本書は初學者のための天文書として英米の社會に最も廣く讀まれてゐます。平易なる英文を以つて天文學の全般にわたり簡明なる記載と親切なる説明とを試みてゐます。

山本助教授は同志社女學校で之れを教科書に用ゐてゐられます。內容の配列は

一、地球と天體との關係　九、曆
二、地球の公轉　十、太陽曆の概觀
三、時間について　一一、內遊星
四、天體の觀察と測定　一二、四外遊星
五、重力　一三、彗星と流星
六、地球　一四、星座
七、太陽　一五、恒星と星雲
八、月と日月蝕　一六、天文學小史

山本助教授曰く

「ニウカム氏のエレメンツは天文學書として近代の傑作である。四六版、僅か二百餘頁の小册子に、よくも之れだけ趣味と實益とを兼ねた（しかも數學ぬきの）好い書物が出來たものだ。今日の天文を愛する人は必ず此れを讀んで其最初の智識を得なければならぬ」云々

京都大學天文臺內、振替大阪五六七六五）

取次……天文同好會

發賣……丸善株式會社京都支店

LATEST K.U.O. BULLETINS PUBLISHED

No. 19 (29. April)

otal Mass of Minor Planets……U. Geminorum……Kioto 10-inch Reflector……Mr. K. Nakamura.

No. 20 (7. May)

Monthly Report of Sun-Spot Observation……A Large Meteor

No. 21 (9. May)

Meteoric Observations……Mercury Approaching Venus……Dr. T. Ikeda……Nakamura's Variable.

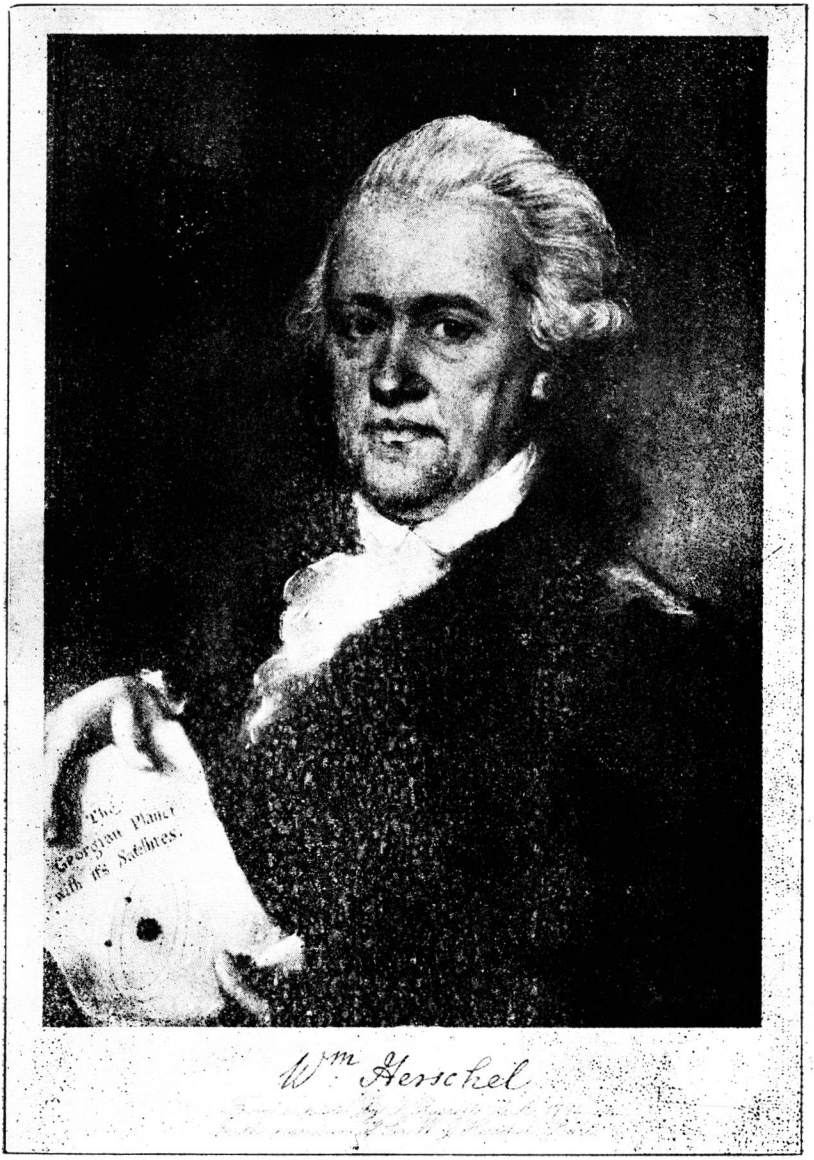
No. 22 (13. May)

Variability of Delta Ursae Majoris……T. Centauri.

Published by the Society of Astronomical Friends, Kyoto University Observatory.

殘部あり　前月發行のものは同好會員に限り毎號金五錢で分配す

京都大學天文臺內　天文同好會發行



Wm Herschel

を養ひ、或る壹方面から見れば立派な理論家であるとも言へるが、しかし又別の方面より見れば、自分の室を「天文實驗所（Astronomical Laboratory）」と名づけ、多くの助手を督し、自らも汗して寫眞の測定に從事したことなど、確かに實際家としての性格も備へてゐる。それ故、吾人は彼れを一片の理論家とのみ唱へたくない。――實にオランダ一國のみならず、世界のための一異才として、其の人格とその業績とは永く歷史上に記念せられるべきである。

昨年、グローニンゲン大學を退いて退引したが、尙其餘生をライデン大學の研究室に於いて送る筈であつた。

自分は、今年、大ハーシェルの百年に際し、わがカソタインを思ふて、彼此大に相通ずるの奇なるを見るのである。卽ちカプイタンのケイプ星表はハーシェルのスータゲージと其精神に於いて相近く、又、前者の二大星流發見は後者の太陽運動發見と並ぶべきものである。勿論、時代に壹百年の前後の差があり、ハーシェルは素人天文家たりしに對し、カプタインが始めから職業的天文家たりし差は之れあるも、共に宇宙の問題を窮局の問題として終始したところなど考へ比べれば相似點の餘りに甚だしいのに驚くばかりである。今日大ハーシェルの歿後百年、又こゝにわが「二十世記のハーシェル」を失ふたことは學界のために、何等かの意味があつて然るべきかとも思へる。（一九二二・六・二）

九月の天象

太陽　九月中太陽の赤經は十時四十分から十二時二十八分に增し、赤緯は北八時廿九分から南二度五十九分に變移する。時差は二日に零となりそれから十時七分迄增加する。八日午后七時白露節。二十四日午前五時秋分。太陽は赤道を通過し、黃道十二宮の最初の秋の宮なる天秤宮に入る。二十一日午后一時三十八分皆既日蝕となるが我國では觀望不能

月　六日午后四時四十七分水瓶座ラムダ星附近で滿月、十四日午后七時廿分牡牛座アルファ星（アルデバラン）の西方で下弦月、廿一日午后一時三十八分新月、廿八日午前七時四十分射手座廿一番星の稍北方で上弦月、八日午前三時遠地點に至り、十一日午后三時近地點に來る。十三日午后八時四十七分から五十七分迄に牡牛座首星（アルデバラン）を、十六日午后六時十三分から七時十七分迄に雙子座

ラダム星を、二十九日午前十一時から十二時十四分迄に射手座ロー星を掩蔽する。

水星　十五日に赤經十三時二分、赤緯南八時五十三分即ち乙女座にあり。八日午后九時土星と合。十日午后十二時遠日點通過。二十日午后八時太陽の東方二十六度二十分の最大離隔に達するが、地平線に近くて觀測するに不便。二十一日午后九時木星の南四時十三分にて木星と合、二十三日午前六時三十一分月の南五度二十九分にて下弦月と合。本月中の距離九千七百四十六万四千哩。

金星　十五日に赤經十四時十九分、赤緯南十七度一分即ち乙女座と天秤座との境界の所にあり。十六日午前八時に太陽の東方最大離隔となり、太陽との距離は四十六度二十四分となる。十六日午前十一時遠日點。二十四日午后四十分月の南七度四十八分にて下弦月と合。十五日頃には日沒後一時三十分で地平線に入る。光度は負四等で前月の一、三倍に増加する。望遠鏡で見れば上弦の月の如くである。

火星　十五日には赤經十八時五分、赤緯南二十六度三十七分即ち手射座にあり。其光度は今や負〇、四等に落ちたが、未だ射手座に於ける光輝強き星である。現在一日五十万哩の割合で地球から遠ざかりつゝあるが十五日には七千五百七万九千哩である。十九日午前九時南方最大日心黃緯度、二十八日午后九時十四分月の南八度八分で下弦月と合。

木星　十五日には赤經十三時二十分、赤緯南七度十六分にて乙女座にあり太陽は迅速　追付き來るが、木星は日沒後一時間で水平線下に沒する。十七日スピカ星の北三度の所に來つて同星と合となる。光度はスピカ星の十倍、二十三日午前五時七分月の南方一時二分にて下弦月と合。距離五億八千五百三十九万八千哩。

土星　十五日には赤經十二時三十四分、赤緯南一時十七分即ち乙女座にあり。太陽は速かに土星を追及しつゝあり。土星は十五日には日沒後三十五分にして地平線下に入る。二十二日午前九時下弦月と合（月の北一度廿四分で）二十三日には乙女座ガンマ星の南四十秒で同星と合。然し地平線に近いので見にくい。土星の距離は九億七千五百五十六萬七千哩。

天王星　十五日には赤經二十三時五十二分、赤緯南八度七分即ち水瓶座ラムダ星の近くを逆行中である。五日午后八時太陽と衝、六日午后四時一分下弦月と合（月の南二度三十四分で）距離は十七億七千三百四十八万七千哩。

海王星　十五日には赤經九時十八分、赤緯北十五時五十三分、本月中は蟹座と獅子座の間を運行中であるが地平線下になつてゐる。十八日午后十一時十一分下弦月と合（月の北三度五十一分で）距離は二十八億七千一百三十三萬五千萬哩。

流星群　先月より本月中ペルセウス座エプシロン星の附近と、牡羊座から流星が現はれる。エプシロン、ペルセウスの方は十五日に、牡羊座の方は二十一日に最も多く出現するが著しくはない。（エ生）

アルゴールの最小限の推算（中村生）

二日	午前五・一時	廿五日	午前三・六時
五日	同　一・八時	廿八日	同　〇・四時
七日	午後一〇・七時	卅　日	午后九・二時

編輯室より

▽八、九月を合本としてハーシエルの記念號を出すことは七月號に豫告致しました。さて編輯にかゝると意外の出來事の爲めに二十日以上をも遲れました。其一つは印刷所の過失で重要な部分の原稿を失つた事であります。之が爲に山本助教授の「お別れに臨んで」は掲載する事が出來なかつた事を同氏にお詫びしなければなりません。他は同教授の「ハーシエルの回顧」の原稿十五日に到着した爲めでありました。しかし難産であつた此の號もやつと諸氏に見參する事が出來ましたのは不幸中の幸であります。

▽十一月頃より正規に回復する筈であります。何卒讀者諸氏の御寛容を乞ふ次第であります。

▲山本助教授夫妻は九月十一日午后八時五十二分京都御出發、多數の名士、學生、天文同好會員等の見送の中に御東上、十四日富山丸にて御出帆アメリカに向はれた。

▽本會の創立以來一方ならぬ御援助を與へられた發起人の一人にして執筆者たりし古川龍城氏は京都大學宇宙物理教室助手より東京天文台技手に御榮轉、九月十三日午前十時京都驛發汽車にて御赴任の途に着かれました。茲に祝意を表します。

事務室より

▽會費を集める爲めに前金切のスタンプを押しましたが餘りに効果がありませんでした。それで九月迄の會費を集金郵便で取りたて始めました。御承知置き下されまして御支拂を願ひます。

▲天界の舊號中1、5、9、の三號の御不用の方がありましたらどんな汚れてゐても原價でお買ひ受け致します。何卒御一報下さい。

天文同好會

本部 京都帝國大學
同志社支部 京都市同志社大學內
京都小學教員支部 京都市富有小學校
洛南支部 天文臺 飯義壽
中都支部 內山新
西陳支部 京都市錦小路東 青池喜代藏
三高支部 京都市第三高等學校 五松五辻下ル 河村篤之助
大阪支部 大阪市南區鹽町一丁目 西堀榮三郎
神戸支部 神戸市榮町五ノ六八 兒童文化協會 渡邊定助
甲南支部 兵庫縣尼崎市高等女學校 木村孝造 岡山市門田二十一 水野十里
名古屋支部 名古屋市東區東芳野町共 澤野眞 中澤登
上田支部 長野縣上田市高等女學校 長野市長野小學校本部 黑岩魁一郎
長野支部 長野縣下高井郡瑞穗小學校 宮川周治
高水支部 長野縣上水內郡訪中學校 上條清人
松本支部 長野縣松本市築摩郡 三澤勝衛
諏訪支部 長野縣諏訪中學校 熊野德衛
廣島支部 廣島市研屋町五一 古賀和吉
九州支部 福岡縣下牟田市龜甲町

大正十一年九月廿四日印刷（價金十五錢）
大正十一年九月廿五日發行（郵稅金五厘）

天界 第廿一號（一號）

京都帝國大學天文臺內 天文同好會
編輯兼發行者 振替口座大阪五六七六五番 山本清一
右代表者 大阪市西區市岡町三五五
印刷所 太陽印刷株式會社
警醒社
賣捌所 東京橋銀座尾張町 丸善株式會社
東京・京都・福岡・仙臺・大阪 岩波書店
東京神田裏神保町

大正九年十二月二十四日第三種郵便物認可毎月一回二十五日發行

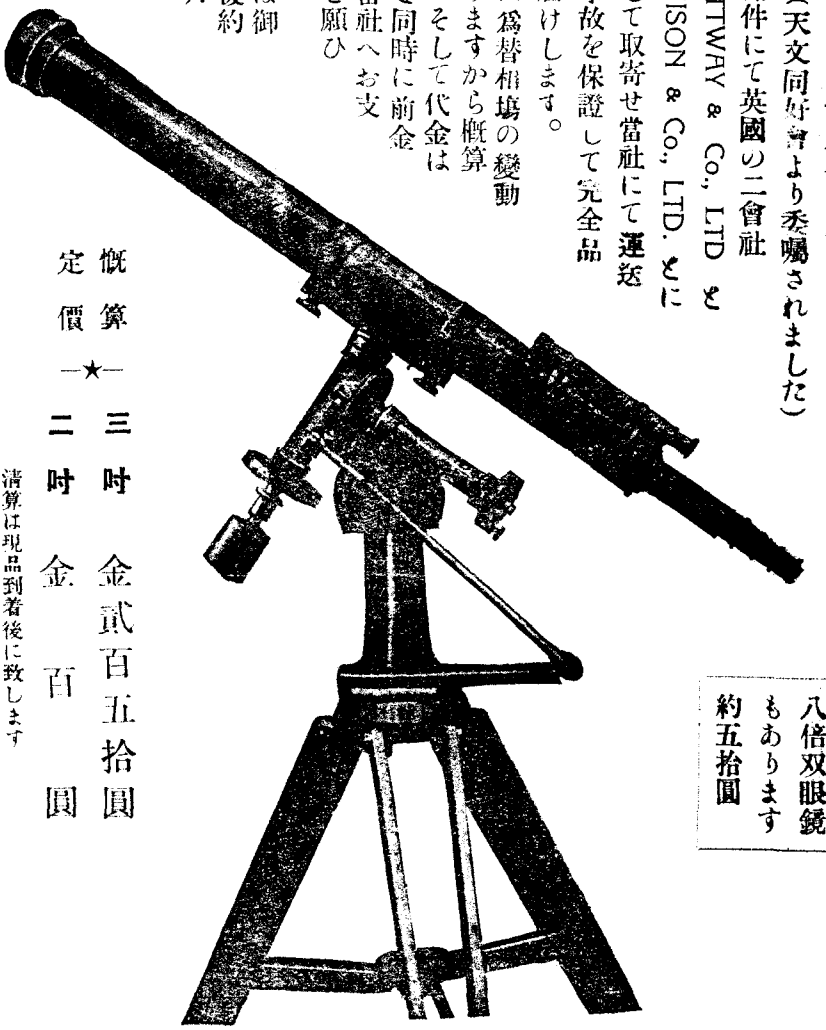
望遠鏡輸入

（天文同好會より委囑されました）

左の條件にて英國の二會社 W. OTTWAY & Co., LTD と AITCHISON & Co., LTD. とに注文して取寄せ當社にて運送中の事故を保證して完全品をお届けします。

定價は爲替相場の變動がありますから概算とし、そして代金は注文と同時に前金にて當社へお支拂ひを願ひます。

現品は御注文後約四ヶ月かゝります。



概算 定價

—★—

三吋 金貳百五拾圓

二吋 金百圓

清算は現品到着後に致します

八倍双眼鏡もあります 約五拾圓

近江八幡町
電話二五七番
振替大阪五四五三四番

CABLE & TELEGRAPH ADDRESS
"OSACO, HACHIMAN, OMI"
CODES
WESTERN UNION 5-LETTER EDITION.
BENTLEY'S COMPLETE PHRASE.
AND PRIVATE

近江セールス株式會社
OMI SALES COMPANY, LTD.
IMPORTERS
OMI HACHIMAN, JAPAN